特定非営利活動法人JUNKO Association

2021年度事業報告書

～JUNKO Association Annual Report 2021(2020/11～2021/10)～

JUNKO Association

■About Our Association

JUNKO Associationは、高橋淳子さんというある一人の女性の想いから1995年に設立され、2020年に25周年を迎えました。

当法人は、ベトナム・ミャンマー・ビジネスの３つのプロジェクトから成り立っており、ベトナム・ミャンマープロジェクトは、例年、年に２回現地を訪問し、交流活動・教育支援活動を行っています。ビジネス・プロジェクトは、ベトナム・ミャンマーで買い付けた雑貨を日本に持ち帰り、学園祭・イベントなどで販売したり、日本にあるお店に卸したりしています。また、各プロジェクトの活動に加え、広報会員部が日本国内においてSNSサービスなどを用いて当団体の活動を広く知っていただき、寄附をお願いする活動を行っています。ビジネス・プロジェクトで得た収益金や寄付金は、ベトナム・ミャンマーの子どもたちの教育支援のために使われるとともに、一部は当法人の運営資金となります。

今年度はコロナウイルス感染拡大の影響により例年のように活動できる状態ではありませんでした。しかし、ベトナムとミャンマーの子ども達のために私たちができる事を模索し続けながら活動を行っております。

■理事長ごあいさつ

学生中心の国際NGOであるJUNKO Associationが25年以上の活動を続け、校舎や図書館や奨学金財団を作りながら、ベトナムやミャンマーの学校と交流してきたことは素晴らしいことです。これは多くの学生たちの努力のたまものであり、現地の協力者の方々や国内で支援いただくみなさんからの力に他なりません。さらには神奈川県からは「ボランタリー活動奨励賞」、国からは「外務大臣表彰」、東京キワニスクラブからは「青少年教育賞をいただきました。

しかし、2021年度からは新型コロナウイルスにより現地への渡航が不可能となり、ミャンマーでは軍政によるクーデターも起き、教育にも生活にも重大な困難が生じています。その様な中でも現地とは連絡を取り、公衆衛生教育と衛生用品等を援助しながらNGOとしての活動と、渡航可能になった後の活動の準備を続けています。既に一年生も二年生も現地未経験です。しかし私たちは頑張っていきます。

■活動沿革

1993	高橋淳子さん、交通事故により他界。
1995	淳子さんが所属した前理事長江橋氏のゼミ生が中心となり、国際NGO「JUNKO Association」を発足。
1995	JUNKO School開校式
1997	ベトナムへの学生短期派遣プロジェクト開始
1998	ビジネスプロジェクト始動
2001	ミャンマープロジェクト始動 ミャンマーへの学生短期派遣を開始
2002	ミャンマーでの雑貨買い付け開始 ミャンマー、Letpadan No.1 Basic Education High Schoolの新校舎を建設
2005	JUNKO School開校10周年
2007	NPO法人格を取得
2015	JUNKO School開校20周年
2016	ミャンマー、Letpadan No.1 Basic Education High SchoolにJUNKO Libraryを建設
2020	JUNKO School開校25周年 外務大臣表彰を受賞

■学生代表ごあいさつ

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で学生短期派遣が実施できず、現地の子ども達、さらには学生会員同士も対面で会うことができず、非常に制限がある中での活動となりました。

しかしこの状況下でも、ベトナム・ミャンマーともにオンライン上での話し合いを行い、活動を続けました。ベトナム戦争の経験をされたグエン・ドク氏による学生会員向けの講演会や、クーデターにより混乱するミャンマーの子どもたちに衛生物資の寄附を2度行うなど、未曾有の事態の中で支援の形を模索し、活動しています。

また、外務大臣表彰をはじめとした多くの表彰を受け、当法人を設立するきっかけとなった女子学生である高橋淳子さんのお墓参りや彼女のお父様とお話をする機会をいただきました。2021年は、ベトナムやミャンマーの子どもたちへの活動を行う意義を再確認すると同時に、設立から25年以上になる中でOBOGの方々が築き上げられた歴史や活動の成果、日頃から応援してくださっている皆様の支えがあってこそ、当法人が活動し続けられていると改めて実感する年となりました。

今日まで築くことができた信頼関係と皆様のお力を最大限に活かし、子ども達の生活や教育環境がより良くなるよう、会員一同精進してまいります。今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

■活動理念

世界の恵まれない子どもたちのために
×
学生の創造と実践の場

特定非営利活動法人JUNKO Associationは、世界の恵まれない子どもたちの成長（人間的な発達）を願って活動します。

また、学生が運営主体となるJUNKO Associationは、学生のこころざし・創造力・行動力を尊重し、活動を通して学生たちの能力や視野を拡げることを期待しています。

■Vision

JUNKO Associationは、世界の子どもたちが人として十分に発達することで、彼ら自身が持つ潜在能力を将来において存分に発揮できる社会を目指します。また、日本などの先進諸国の人々が開発途上国の抱える問題や地球規模の問題を理解し、ともに生きることのできる公正な社会が実現されることを願います。

■Mission

◇開発途上国の恵まれない子どもたちがよりよい教育を受けられる環境の創造

◇開発途上国の子どもたち自身の学ぼうとする力や意欲を引き出し、子どもたちの視野を広げるような支援活動の実施

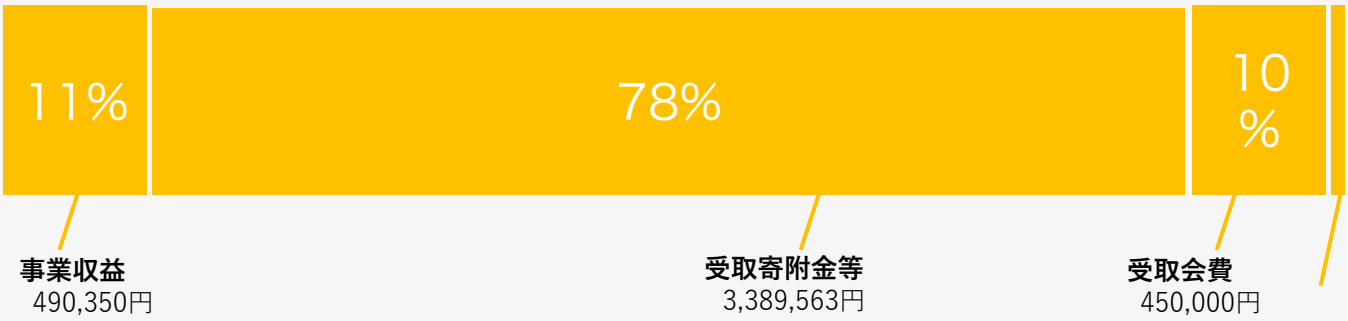
◇日本の人々に開発途上国の実情や抱える諸問題を伝え、異文化理解や南北間の相互依存に対する理解を促進する活動の実施

■ JUNKO定款に有る三つの目標と五つの事業行為とは
⑴ 国際協力の活動
⑵ 子どもの健全育成を図る活動
⑶ 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

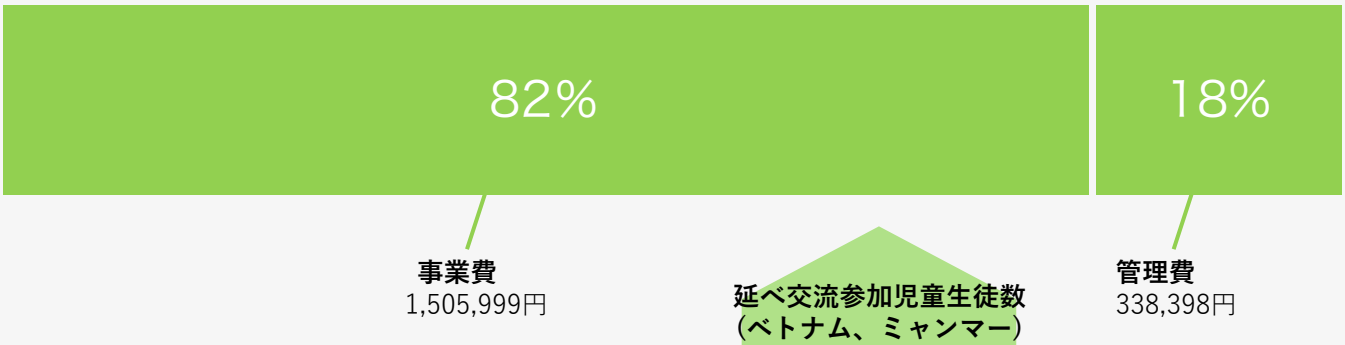
特定非営利活動に係る事業
①教育支援事業（教育助成金支給事業、授業向上のための支援事業）
②文化交流事業（日本や世界の文化を学ぶ草の根レベルの友好関係増進に寄与する事業）
③学生会員派遣事業（教育支援事業、文化交流事業を遂行するために現地へ学生会員を派遣する事業 ）
④国内啓発（開発教育）事業（日本の人々が国際協力、並びに開発協力に関心を深め考えるための 、ホームページ、会報、出版、セミナーなどによる普及啓発事業）
⑤雑貨買い付け・国内販売事業（ベトナム、ミャンマーの民芸品買い付け、販売事業）

Record
From 2020～2021

INCOME 436万1,812 円



OUTGO 184万4,397 円



延べ交流参加児童生徒数
（ベトナム、ミャンマー）
1,038

総事業数
3

交流参加生徒数
（日本）
28

総会員数
66

Annual report

JUNKO Association
Education-your door to the future.

01教育支援事業（Vietnam）

新型コロナウイルス感染拡大により、現地での企画の実施ができませんでしたが、現地協力者や日本側の協力校とオンラインでミーティングを行い、来年度の企画実施に向けて入念に準備をしました。

JUNKO Prize

本事業は、自分の意見を伝える発表の場を通して、子どもたちの自主性や独創性を養っています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催することができずにいましたが、来年春にオンラインでの開催を目指しています。今回は、子ども達が異文化に触れるため日本のアニメをテーマに企画実施を考えています。この企画では、生徒同士で考え、お互いの意見を受け入れる力、相手に自分の意見を伝える力を育てることを目指しています。今後の開催に向け、現地協力者とオンラインで、テーマや企画内容に関して話し合い、より子どもたちに寄り添ったプログラムの計画をさらに進めてまいります。

対象校：JUNKO小学校
Nguyen Thanh Y 小学校
費用：0円

日本とベトナムの高校生による交流

対象校：Hoang Dieu高校、
吉祥女子高等学校
費用：0円

本事業は、新型コロナウイルスの影響により渡航できなくなった状況を逆手に取り、ベトナムと日本の高校生が環境問題をはじめとした国際問題についてディスカッションの開催を行う新企画です。両国間の問題の認識に対する相違点を知り、理解を深め、高校生により広い視野を持ってもらうきっかけを作ることをめざしています。今年度は、残念ながら実施には至りませんでしたが、吉祥女子高等学校の教員、ベトナムの現地協力者と話し合いを進め、日越両校の生徒にとってインパクトの大きい企画となるよう、準備をしてきました。来年度の実施に向けて、日越の高校生によりよいソフト面での支援を届けられるよう、引き続き活動していきます。

娯楽品提供交流

ベトナム中部の山岳地帯では、経済的困難をはじめとした多くの理由により、義務教育からドロップアウトする子や学校を欠席する子が増えており、子どもたちの将来に影響を与えています本事業は、“学校への楽しみをそれほど抱けていない”という点にアプローチを行い、学校において子どもたちが楽しみを見出せる場にするために娯楽品の寄附を行っています。これまでボールやパズルといった娯楽品やボールの寄附、バレーボールやドッジボールのルールのレクチャーを実施し、通学意欲を高める活動を行ってきました。今年度は実施に至りませんでしたが、22年度実施予定のドッジボール大会に向け準備を進めています。

交流校：KPA Kolong小学校、
Song Tra村民族半寄宿舎中学校
費用：0円

学校図書館事業

本事業は、勉強自体に興味を持ち、学校に楽しく通ってもらいたいという思いのもと立案されました。目的としては「子どもたちの感性を刺激することで視野を広げる」こと、「読書を通して基礎学力を向上させる」ことを掲げています。また、寄附した本を持続的に有効活用する方法を確立できる支援を行うことを目指していきます。今年度は、社会福祉法人救世軍様にご協力いただき、150冊を超える本やノートを集めることができました。今後は、現地協力者の協力のもと、現地調査を通して万全の準備を整え、事業を実施することを目指してまいります。

交流校： KPA Kolong 小学校
対象者：DOET
KPA kolong 小学校の先生方と生徒
費用：0円

台風支援事業

2020年11月にHiep Duc地域にて台風被害が発生し、現地協力者から生活物資の支援要請があったため、本事業ではHiep Duc県Phuoc Gia村の子どもたちに向けて衣類など支援物資を輸送しました。今年度は、その後の使用状況を十分に確認できていないため、今後は調査を進めてまいります。

＜支援物資＞
・衣服61着
・レインコート20枚
・靴17足

対象校：Quang Nam 省 Hiep Duc 県 Phuoc Gia 村
実施日：2021年2月3日
費用：119,000円

01教育支援事業（Myanmar）

今年度は、軍によるクーデターと新型コロナ拡大により入国ができず、学校も閉鎖となりました。そのような状況下で地元の協力者や校長先生と連絡を取り、生徒を通じて公衆衛生教育を行うポスターを作成し、その実施のための緊急援助物資 400kg を送り、Yangon の僧院学校には寄附を行いました。

衛生教育事業

本事業は、Letpadan地域における新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために始動しました。ミャンマーは感染者への医療環境が十分に整っていないため、感染後の十分な治療を受けることが困難な状況にあります。そのため感染規模は急激に拡大し、現在でも甚大な被害を与えています。私たちは現地の人々の感染予防に重点を置いており、物資支援と衛生教育支援を行ってきました。物資支援では現地の必要性に合わせて石鹸やハンドスプレーなどを輸送しました。衛生教育支援では、現地の情勢により情報獲得が困難であると考え、感染症に対する正しい知識や感染対策を伝えるポスターを作成し、学校に掲示しました。今後も引き続き物資と衛生教育のどちらの支援がより必要かを現地と相談をしながら、適切な衛生支援を行ってまいります。

対象者：Letpadan Townshipの住民、No.1 Basic Education High School、
Hanther Aye僧院孤児院、Boys Training School（孤児院）
実施日：2020年12月、2021年1月、9月
費用：487,000円

＜支援物資＞
・石鹸 3,151 個
・マスク 6,842 枚
・ハンドスプレー172個
・石鹸ネット 2,500 個
・次亜塩素酸水噴霧用のスプレーポンプ型 16 個
・赤外 線体温計 1 個

僧院孤児院への寄附

新型コロナウイルス感染拡大の影響による収入の不足を補うため、That Dahma Zaw Tika Yon Kyaun僧院孤児院(以下、タンリン僧院学校)にOBOGの方々の協力のもと寄附を行いました。今回の寄附は生活環境を改善することに加えて、当法人からの応援の気持ちを届けることやタンリン僧院学校の調査をお願いすることを目的としていました。現地調査から、収入が大幅に減少し財政危機であることや、感染予防に対する意識が低いことが判明し、資金的な援助と衛生教育の必要性を感じています。また、タンリン僧院学校の収入（政府からの助成金やお布施など）が回復するには時間がかかると考えられるため、継続的に寄附を届ける手段の早急な確立を検討しております。

交流校：That Dahma Zaw Tika Yon Kyaun 僧院学校・孤児院
交流対象人数：1,028名（児童1,027名、僧侶1名）
交流実施日：2021年1月25日
費用：273,000円

学校図書館事業

本事業は、2016年に建設した学校図書館JUNKO Libraryの施設環境の充実や運営方法の確立を目的に支援を行っています。この図書館は2019年度より司書教諭が置かれ、2020年度には図書委員制度も導入されました。また、政府の行う図書館研修に司書教諭が参加し、県の校長会の研修会場となるなど図書館のモデルになりつつあります。今年度は、施設環境および運営体制のさらなる強化のため、日本の公立図書館の調査を実施し、図書館内の書棚や勉強空間、PCを用いた貸出体制に関する情報収集を行いました。

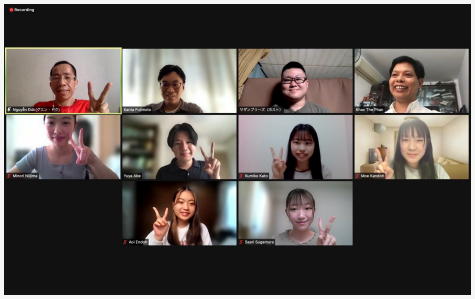
対象校：Letpadan No.1 Basic Education High School、JUNKO Library
調査対象：横浜市立中央図書館
実施日：2021年4月22日
費用：0円

02文化交流事業（Vietnam＆Myanmar）

新型コロナウイルス感染拡大により、現地での企画が実施できませんでしたが、現地の方とのオンラインの交流や、国内の活動を通じて、日本とベトナムの親交をより深める活動を実施しました。

ドク氏との交流

本交流は、ベトナム戦争を経験された方から歴史や当時の状況を学生会員が学ぶことを目的に実施し、グエン・ドク氏とのオンライン交流会に参加しました。戦争証跡博物館ツアーを通してベトナム戦争の被害の実状を肌身で感じる機会となり、さらに当法人の活動を紹介し、ドク氏から活動への励みのお言葉をいただきました。ベトナム戦争被害の象徴ともいわれるドク氏の経験や平和への思いを直接聞くことができた貴重な機会となり、平和のために今私たちに何ができるのかを考えることができました。



交流実施日：2021年10月20日
交流参加者：学生会員8名

淳子さんのお墓参り

2019年にベトナムテレビ局VTVで放映されたJUNKO小学校のプログラムを視聴したDong Thap省在住の女性から、お手紙と高橋淳子さんへの詩が在ベトナム日本大使館に届けられました。これを当法人設立のきっかけである高橋淳子さんのお墓の前で学生が朗読し、お父様の高橋廣太郎さんにお渡ししました。また外務大臣表彰受賞や現在の活動をご報告させていただきました。高橋さんから淳子さんが学生だった頃やJUNKO小学校を建設した当時のお話をして下さいました。

ベトナムから詩のパネルが届きました！！

Dong Thap省在住のグエン・ティ・トゥー・トゥイさんから高橋淳子さんと高橋廣太郎さんへお手紙と詩のパネルを送っていただきました。淳子さんの想いや当時の高橋廣太郎さんや学生の活動は活動地域から遠く離れた地域に住んでおり、JUNKO小学校に一度も訪れたことのない方の心を動かしました。今後も淳子さんの想いと共に両国の草の根レベルの友好関係増進に努めていきます。

ミャンマーでも同様に現地での事業の実施は叶わなかったため、オンライン上で日本語学校の生徒と交流を行いました。その一方で、日本国内では対面でのパンパルコミュニケーション事業を行うなど、感染対策を考慮しつつも可能な限り現場での事業実施を目指して活動しました。

ペンパルコミュニケーション事業

本事業は、日緬両国の生徒の手紙交換と学生会員によるワークショップを通した相互理解を目的に実施しています。しかし、今年度は日本国内での実施のみとなり、学生がミャンマーの知識を増やすこと、海外ボランティアにおいて現地主体で考えることの重要性を伝えることを目的にワークショップを行いました。ワークショップでは、ミャンマーの子どもたちに外の世界を伝えるための本の内容を考えるというテーマを設定し、日本の学生たちにミャンマーの教育事情を説明し、ミャンマーへの理解を促進しました。また、本の内容を考えるにあたり、その本を読んだ現地の子どもたちに何を感じてほしいのかを言語化してもらうことで現地主体で考えるとはどういうことなのかを実感してもらいました。

交流校：横浜市立みなと総合高等学校
交流参加人数：高校生20名
交流実施日：2020年11月18日
費用：0円

在ミャンマー日本語学校生徒との交流事業

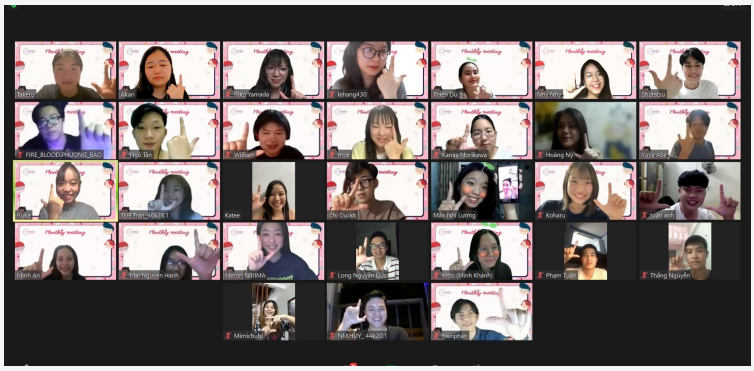
2020年に実施した春期学生短期派遣の際に交流した、在ミャンマー日本語学校J Compassの生徒とオンライン交流会を開きました。J Compassは当法人のOBの方が代表を務められています。今回はチーム毎に分かれ両国の文化や暮らしに関するテーマを設定し会話をすることで、生徒の日本語の実践の場にもなり、学生会員にとってはミャンマーの現在を知る機会となりました。現在は渡航が難しく実際に話す機会も少なくなっているので、とても有意義な時間になりました。

交流校：Yangon日本語学校J-Compass
交流参加人数：日本語学校学生10名
交流実施日：2021年1月24日
費用：0円

03学生会員派遣事業（Vietnam＆Myanmar）

例年、教育支援事業、文化交流事業を実施するために学生会員のベトナム、ミャンマーへの派遣を春季、夏季の年2回行っています。しかし、新型コロナウイルス感染拡大や現地の情勢悪化により、ベトナム社会主義共和国とミャンマー連邦共和国への学生会員派遣を実施することが出来ませんでした。そのため、教育支援事業、文化交流事業やそれに伴う調査を行うため、協力者とオンライン上での話し合いを進めてきました。

【Vietnam】協力者との交流事業



今年度は、ベトナムへの渡航が出来なかったため、現地協力者であるDanang Youth Volunteer Group（以下DNJK）の学生等とオンライン上でのミーティングを行いました。ミーティングを通して、現地の状況や情報の共有、来年度以降の企画の実施に向けて入念な準備を行うほか、互いに交流会の企画をし合いゲームなどを楽しみました。学生の派遣が叶わない中でも現地との繋がりを維持出来ていることに喜びを感じると共に、子どもたちに尽くす仲間として関係を深め、国を跨いで協力し活動することの難しさを実感しています。今後も定期的な交流会を実施し、両国間の学生同士が交流出来る機会に楽しみを感じながら、実施してまいります。

【Myanmar】オンラインミーティング

新型コロナウイルス感染拡大に加え社会情勢の急変により今年度もミャンマーへの渡航は叶いませんでした。情報獲得もままならないこの未曾有の状況下、どうにか現地にアプローチしたい、現地と繋がり続けたいとの強い思いからオンラインミーティングを実施しました。画面に映る現地協力者の方々や子どもたち、そして学校生活の様子はあまりに鮮明でした。これを原動力に、私たちができること・的確な支援は何か、日々模索しています。また、今後、私たちの活動を支えてくださるSupport Fundの方々とのオンライン交流も計画しています。

本事業では、奨励賞や他団体との交流への参加、事業報告書や機関誌の発行、当法人関係者との懇談会の開催を行っています。当法人は今年度、外務大臣表彰をはじめとした賞を多くいただき、ベトナムとミャンマーにおいて持続的に活動に取り組んできたことを評価されました。

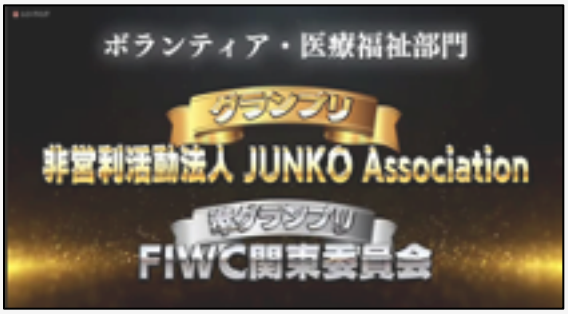
令和二年度外務大臣表彰受賞

当法人は、2020年12月に『令和二年度外務大臣表彰』を受賞しました。これは在ベトナム日本大使館の推薦によるものであり、「25年間に渡り、ジュンコ小学校を含む小中高及び大学、少数民族の青少年に対し、文化交流及び支援事業を実施し、教育環境の改善と草の根レベルの日越教育交流に継続的に貢献してきた」ことを理由に受賞させて頂きました。また、日本国内での民芸品販売事業等を通じて、ベトナムに対する持続的な教育支援の維持に尽力し、ミャンマーでも活動していることも評価されました。

このような賞を頂き、会員の方々、ベトナムやミャンマーにおいてご協力頂いている協力者の方々をはじめとした、当法人を支えてきてくださった皆様に心よりお礼申し上げます。今後とも団体理念を胸に継続して活動してまいりますので、応援、ご支援宜しくお願い致します。

第６回学生団体総選挙で部門グランプリを獲得しました！

Pandoが主催する第6回学生団体総選挙に出場しました。一次審査では各事業紹介や学生の活動への想いなどを記載した記事が評価され、二次審査では団体の歴史や今後の活動への想いを乗せたプレゼンテーションが評価されました。その結果、ボランティア・医療福祉部門でのグランプリを獲得し、副賞20万円を獲得しました。



東京キワニスクラブ主催
第36回青少年教育賞優秀賞受賞

2021年9月に開催された東京キワニスクラブ主催第36回青少年教育賞において優秀賞を受賞しました。本賞は、社会奉仕活動、青少年の健全な育成もしくは国際的な活動に努める学生主体のボランティア団体に贈られ、当法人は「ベトナムとミャンマーで教育支援を継続的に取り組んできた」ことを評価していただき受賞することが出来ました。また、副賞として5万円を獲得しました。

他団体との交流会を多数実施

明治学院大学のカンボジア教育支援団体「ぽけっと」（明治学院大学公認ボランティアサークル）と、互いの団体の理解やPRできる関係を築き、コラボするため、交流を実施しました。また他大学の東南アジアにおいて教育支援を行う3団体とコロナ禍での活動に関して意見交換を行いました。今後はより一層関係性を強化し、共に学びを深め、国内啓発に尽力いたします。

～受賞・報道略歴～

2000	フジテレビ系西日本放送にてJUNKO Schoolのドキュメンタリー放送
2001	シチズン・オブ・ザ・イヤー2000 受賞 キワニスインターナショナル青少年教育賞 受賞
2006	ケーブルテレビ「Area4」にて紹介を受ける
2008	第8回ソニーマーケティング学生ボランティアファンド 助成
2009	財団法人学生サポートセンター国際協力団体 助成 東京キワニスクラブ奉仕賞 受賞 第9回ソニーマーケティング学生ボランティアファンド 助成
2010	第55回イーバーツリユースPC寄贈プログラム 受賞
2012	第11回ソニーマーケティング学生ボランティアファンド 助成
2015	ベトナム全国紙「Toi Tre」に掲載 JUNKO School開校20周年式典の様子が掲載される
2016	よこはま国際協力賞 受賞
2017	日本財団ボランティアセンターGakuvo 助成 FM戸塚「戸塚の力」初出演
2018	2018明治学院大学ボランティアファンド学生チャレンジ 受賞
2019	2019明治学院大学ボランティアファンド学生チャレンジ 受賞 ミャンマー全国紙「The Mirror」に掲載 Bago管区Letpadan市での活動の様子が掲載される ベトナムのテレビ放送「VTV4」に取材を受ける JUNKO Schoolの歴史と交流活動の様子が放映される
2020	かながわボランタリー活動奨励賞 受賞 戸塚区タウンニュース（2020年4月2日号）に掲載される 令和二年度外務大臣表彰 受賞 第6回学生団体総選挙ボランティア・医療福祉部門グランプリ 受賞
2021	東京キワニスクラブ第36回青少年教育賞優秀賞 受賞

05雑貨買い付け・国内販売事業

本事業に該当する活動としてビジネスプロジェクトでは、2021年度も学生短期派遣やイベントの出店が行えなかったため、2020年度と同じくベトナムとミャンマー両国から雑貨等の仕入、日本国内の協力店での販売・オンラインストアでの販売を行いました。

雑貨買い付け事業

2020年に引き続き、学生短期派遣での仕入れ・買い付け活動が困難であったため、日本国内で販売する雑貨をベトナムとミャンマーから輸入しました。

輸入した雑貨等は協力店での卸売・委託販売、オンラインストアでの販売を行うほか、広報活動の一環としてミス明治学院コンテスト（11月3日実施）へ提供いたしました。このほか、協力者に依頼して新商品の作成も試みました。

＜ベトナム社会主義共和国より＞
日程：2021年9月15日、16日
関係者：8人

＜ミャンマー連邦より＞
日程：2021年6月30日
関係者：4人

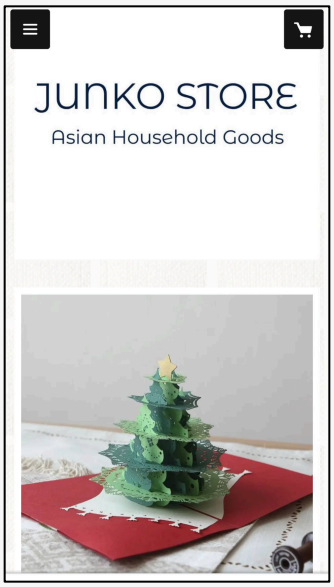
オンライン販売事業

2020年度以降、イベントへの出店が行えず商品を販売する機会が激減してしまったため、2020年8月にJUNKO STOREを開設し、2021年度1周年を迎えました。

周りの方々の支援や応援もあり、7万2千円の売上を出すことができました。

オンライン販売事業では主にWebサイトとSNSの運営、商品の仕入れ、商品の写真撮影などに取り組みました。

団体関係者以外の方々にもJUNKO STOREを知ってもらうため、今後はさらに広報活動の強化や品揃えを豊富にして参ります。



協力店事業

2021年度も学生短期派遣が中止となったため、協力店に商品を卸すことが難しい状況が続いています。今後の方針としては協力店との関係性を深めるため、今まで以上に密な連絡を行うことを計画しています。

また新型コロナウイルスの状況を考慮しながら、定期的に協力店への訪問を行い、顧客層やお店の雰囲気に応じた商品を協力店ごとに提案し、収益の獲得につなげたいと考えています。

レストラン『フランセ』とコラボ！

当法人のOGの方が運営されているレストラン『フランセ』とのコラボを行いました。旅行気分を味わってもらうため、夏の時期に合わせ、紅茶のグラニテとベトナム風プリンのアジアンテイストのデザートをコラボメニューとして期間限定で提供させて頂きました。食事をすることで子どもたちへの支援に繋がるという付加価値をお客様に提供し、当法人の支援への協力や当法人の知名度UP、JUNKO STORE等の広報を実施することを掲げております。今後は収益化も目指してます。

●ビジネスプロジェクトの事業成果

【収益】

イベント・小売販売：72,180円

卸売販売：423,260円

委託販売：45,800円

収益計：541,240円

●2021年度 雑貨販売の協力店一覧

CLASKA

東京目黒区中央町1-3-18

デザインフィル

東京都渋谷区恵比寿1-19-19

ぽれやぁれ

東京都杉並区高円寺南3-44-6

パパテオ

JR大船駅から約15分

※個人宅のため、詳細はホームページをご覧く ださい。

RAKU

神奈川県鎌倉市浄明寺2-2-2

Point Weather

神奈川県横浜市港北区綱島西
1-14-18

詳細はホームページ・SNSをご覧ください

https://www.junko-association.org

2022年度より会費の振込方法が変わります！！

会費の自動引き落とし 導入

2022年度より会費の支払方法が変更されます。
以前より検討させていただいておりましたが、この度ファンドレイジングツールとして『Syncable』を導入し、会費のお支払い方法にクレジット自動引き落としを開始することとなりました。
当法人は、会員の方から会費をお預かりし、子どもたちの支援に活用させていただいています。また、会員登録は年度が替わる際に自動更新され、年会費として賛助会員¥5,000以上、社会人正会員¥5,000をいただいています。会員としてご登録された方には特典として、機関誌『TIMES』を年2回送付致します。
※賛助会員：総会での議決権なし
社会人正会員：総会での議決権あり（知識、経験面での協力）
クレジット自動引き落としを開始したことで、会員の更新とともに毎年度11月1日に会費が引き落とされるようになります。
2022年度より本ツールで会員登録される方は、下記の当法人のページから年会員になっていただくことで会費のオンライン決済がご利用いただけるようになります。登録し初年度の会費を入金していただきますと、入会届を送付致します。返信されたことを確認しました時点で、当法人の正会員又は賛助会員となります。また、会費の口座振り込みを選択される場合は、従来通り当法人の所定の銀行口座に毎年度会員様ご本人から振り込んでいただきます。
また、当法人への寄附で支援していただける方は、『Syncable』をご利用いただきクレジットカード、銀行振込、または当法人の口座に直接お振り込みいただくかのどちらかをご選択いただけます（クレジットでのお支払いは、毎月の自動引き落としするか、今回のみかを選択いただけます）。
未来ある子どもたちが学び続けられるよう、当法人一同活動してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお待ちしています。

会員登録、寄附のご支援の詳細は、当法人のホームページ、メールアドレスよりお問い合わせください。

Syncableの当法人ページへはこちら→

junko.association.sr@gmail.com

理念を旨に活動し続ける

多くの制約の中で出来ることを

ベトナムプロジェクト主任　新島実梨

21年度は、ベトナムプロジェクトをはじめ当法人の学生短期派遣は叶いませんでした。ですが一方で、より子どもたちに寄り添った企画にするための準備、今までの活動が現地のニーズにあっていたのかを考え直す企画精査、新たな支援の形を考える時間となる良い機会になりました。連絡手段が限られていたために、現地とのコンタクトが難しく、ニーズ把握が困難という懸念点もありましたが、ダナンの大学生（Danang JUNKO）との連絡を通して現状把握を試みました。

また、事業の幅を拡げ、より子どもたちへのベストな活動を行うため、日本で多くの方に当法人とベトナムでの活動を知り協力していただくために募金活動も実施しました。今後は、子どもたちと交流できなかった空白期間を埋められるよう、私たちができる最善の活動を行ってまいります。

多くの支えと私たちの活動の本質

ミャンマープロジェクト主任　赤根夏実

21年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響に加え、クーデターによる情勢の悪化により誰も予想していない事態となりました。

突然の状況の変化により、現地に顕在し残り続けている課題と新たに発見した課題が混在し、アプローチすべき課題の整理が非常に困難であると感じています。ですが、OBOGの方々やSupport Fundの方々の協力のもと、現地調査や資金的援助、緊急支援物資の輸送、衛生教育の実施が可能になり、衛生設備が整っていない僧院や学校における感染の拡大を未然に防ぐことができました。渡航できないからこそ、現地協力者やOBOGの方々の支えのありがたみを強く感じています。それと同時に私たちにとってのコアな活動が「持続的な教育支援」であると実感した1年となりました。

この１年間で明らかとなった課題を放置せず、築き上げてきた現地との連絡の基盤を積極的に活用し、持続的な教育支援を確実に実施できるよう取り組んでまいります。

コロナ禍をプラスに捉える

ビジネスプロジェクト主任　篠塚俊輔

21年度は前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響が甚大であり、コロナ禍以前に比べ多くの活動が制限され収益としては苦しい状況が続いた一年でした。

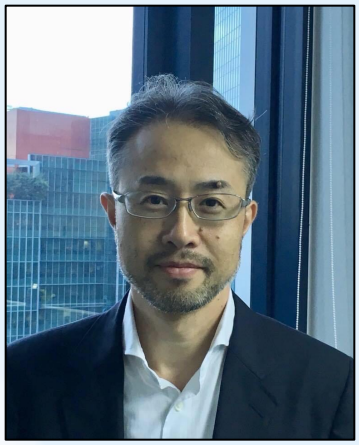
しかし、ビジネスプロジェクトにとって、この状況が全面的にマイナスであったとは思いません。寧ろ、このような現状下で何か出来ることがあるか、どうすればそれを実行できるかを考え、実際に実行してきた一年は有意義な期間であったとも感じています。

現在のビジネスプロジェクトは、多様な事業を展開することができています。具体的には、ネット販売の促進、他の店舗とのコラボ企画などの事業を実施しました。コロナ禍によるデメリットばかりを考えるのではなく、現状がベストであると考えることで、コロナ禍前のビジネスプロジェクトより、成長することができたのではないかと考えています。

今後とも現状の環境で何ができるか、常に満足せず新しいビジネス企画を作って成長していけるような体制を継続してまいります。

25周年とこれから

副理事長 小島英太郎



一人の学生の思いから始まった活動は、多くの皆様に支えられ2020年に節目の25年を迎えましたが、これからというときに新型コロナウイルス、ミャンマーの政治危機に直面しました。ベトナムやミャンマーの子どもたち、先生や地域の方々も大きな影響を受けましたが、私たち自身の活動も難しい状況となりました。当会の活動を支える学生たちが現地へ訪問し、子どもたちと直接関わることができなくなったことは残念でなりませんが、このことは悪いことばかりでもなかったように思います。

それは、もしかすると数年後、「これから」を考えるために、一度、立ち止まる時間であったと、振り返ることができるかもしれません。現地に行けなくなったことで、私たちの本来やるべき活動は何かなどを改めて考える時間ができました。私自身が学生であった25年前にこの活動を始めるにあたって高橋淳子さんのお墓参りをしたように、今の学生たちも彼女のお墓で手を合わせ、原点に戻ったような感じがありました。またここから新たな道を見つけて支援活動を続けていければと思います。

JUNKOを支えてくださった団体・企業の皆様

交流学校名
川崎市立橘高等学校 / 私立吉祥女子中学校・高等学校 / 私立横浜隼人高等学校 /
私立山手学院高等学校 / 私立森村学園中等部・高等部 / 多摩大学付属聖ヶ丘中学校・高等学校 /
横浜市立横浜 商業高等学校 / 横浜市立戸塚高等学校 / 横浜市立みなと総合高等学校 / 倉田小学校

支援団体・個人
かながわボランタリー活動推進基金21/社会法人東京キワニスクラブ/
任意団体横浜アクションプランナー / NPO法人 杉並文化村 / NPO法人 杉並子ども未来委員会 / 一般社団法人 アジア婦人友好会 / NPO法人もったな いジャパン / 社会福祉法人 救世軍/
高野道郎メモリアルプロジェクト/ 株式会社 JOBIA /荒井枝美税理士事務所/
明治学院大学ボラン ティアセンター / 明治学院大学校友会 / 明治学院大学学生部 /高橋廣太郎 /小林きみよ /三浦眞知子/ JUNKO Association学生メンバー保証人・同OBOG

販売協力
グランフォーレ戸塚管理組合/ 中華街パーキング協同組合 / 株式会社クラスカ / パパテオ /
ぽれやぁれ / RAKU / 株式会社デザインフィル / 株式会社 JOBIA /Point Weather /
カフェゆっくり堂 / レストランフランセ / 社会福祉法人日本国際社会 事業団(ISSJ)

～ベトナム社会主義共和国～
▼Quang Nam省
Quang Nam省教育事務所(DOET) / Quang Nam省奨学会(LEA) /
QuangNam省Dien Ban郡 Dien Phuoc社/ Dien Ban郡奨学会(LEA) / Dien Phuoc村 People Committee /
JUNKO小学校/ Nguyen Thanh Y小学校 / Tran Quy CAP中学校/ Hoang Dieu高等学校
▼Quang Nam省
Hiep Duc県 Phuoc Gia社 Phuoc Gia 村 People Committee / KPA Kolong小学校本校 /
KPA Kolong小学校分校1
▼Quang Nam省Hiep Duc県 Song Tra社
Song Tra社民族半寄宿舎中学校

～ミャンマー連邦共和国～
▼YANGON管区Thanlyn Township
That Dahma Zaw Tika Kyaun 僧院学校
▼Bago管区 Letpadan Township
Letpadan No.1 Basic Education High School / Boys Training School / Hanther Aye 僧院孤児院
▼その他
Yangon University of Foreign Language 日本語学科/ ミャンマー連邦共和国教育省/ Bago管区教育事務所
J-Compass
▼協力者
Dr.They Lwin（Myanmar-Japan Society事務局長）

現地協力者
Nguyen Van Phuoc 氏(ベトナム)
Danang Youth Volunteer Group(ベトナム)
U Tin Maung Oo 氏（ミャンマー）
Letpadan Support Fund(ミャンマー)
JUNKO Japan-Myanmar Scholarship Foundation （ミャンマー）
郡司義貴氏（ミャンマー）

Nguyen Van Phuoc 氏

U Tin Maung Oo 氏

理事・監事・顧問
理事長：松岡良樹
副理事長：林公則、小島英太郎
専務理事：阿部雄也
理事：黒滝颯一郎、渡邊晃仁、長澤弘樹
学生理事：田口実空、中島美音里、守屋杏奈
監事：東樹康雅、浜田憲和
顧問：江橋正彦・U Tin Maung Oo

活　動　計　算　書

特定非営利活動法人
JUNKO Association

2020年11月1日から2021年10月31日まで

（単位：円）

科　　目	金	額	
Ⅰ　経常収益			
1. 受取会費			
正会員及び賛助会員受取会費		450,000	
2. 受取寄付金			
受取寄附金		830,487	
3　受取助成金等			
受取助成金	250,000		
受取持続化給付金等	2,250,000		
受取家賃支援給付金	59,076	2,559,076	
4. 事業収益			
（1）教育支援・文化交流・派遣事業	0		
（2）国内啓発事業	0		
（3）雑貨買付・国内販売事業	490,350	490,350	
5. その他収益			
（1）受取利息	43		
（2）為替差益	31,856	31,899	
経常収益計			4,361,812
Ⅱ　経常費用			
1. 事業費			
（1）人件費			
人件費	0		
（2）その他経費			
売上原価	305,864		
諸謝金	0		
通信運搬費	127,879		
印刷製本費	68,897		
旅費交通費	0		
広告宣伝費	3,868		
消耗品費	6,784		
地代家賃	184,845		
出店費	0		
会場費	0		
支払助成金	273,000		
支払寄付金	523,839		
現地交流費	0		
租税公課	6		
支払手数料	11,017		
為替差損			
その他経費計	1,505,999		
事業費計		1,505,999	
2. 管理費			
（1）人件費			
人件費	0		
（2）その他経費			
通信運搬費	3,054		
旅費交通費	484		
会場費			
諸会費	22,500		
支払報酬料	309,299		
租税公課	600		
支払手数料	2,461		
その他経費計	338,398		
管理費計		338,398	
経常費用計			1,844,397
税引前当期正味財産増減額			2,517,415
法人税・住民税及び事業税			195,300
当期正味財産増減額			2,322,115
前期繰越正味財産			4,686,822
次期繰越正味財産			7,008,937

貸 借 対 照 表

２０２１年１０月３１日現在

特定非営利活動法人
JUNKO Association

（単位：円）

科　　目	金	額	
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,716,424		
売掛金	5,740		
商品	453,769		
貯蔵品	208,882		
前払費用	21,165		
流動資産合計		6,405,980	
2. 投資その他の資産			
差入保証金	12,000		
預託金	1,000,000		
投資その他の資産合計		1,012,000	
資産合計			7,417,980
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
未払金	75,659		
未払法人税等	195,300		
預り金	138,084		
流動負債合計		409,043	
負債合計			409,043
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,686,822	
当期正味財産増減額		2,322,115	
正味財産合計			7,008,937
負債及び正味財産合計			7,417,980

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、ＮＰＯ法人会計基準（2010年7月20日　2017年12月12日最終改正　ＮＰＯ会計基準協議会）によっています。

（1）棚卸資産の評価

商品は原価法により評価しています。

貯蔵品（受け入れ寄付物品等）は時価により評価しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

（単位：円）

科　　目	教育支援・文化交流・学生会員派遣	国内啓発（開発教育）	雑貨買付・国内販売	事業部門計	管理部門	合　計
Ⅰ 経常収益						
1 受取会費						
正会員・学生		365,000		365,000		365,000
正会員・社会人		55,000		55,000		55,000
賛助会員		30,000		30,000		30,000
2 受取寄付金						
受取寄附金		830,487		830,487		830,487
3 受取助成金等						
受取助成金		250,000		250,000		250,000
受取持続化給付金等	16,970	1,630,636	602,394	2,250,000		2,250,000
受取家賃支援給付金			59,076	59,076		59,076
4 事業収益						
イベント・小売販売			8,700	8,700		8,700
卸売販売			382,120	382,120		382,120
委託販売			35,500	35,500		35,500
ネット販売			64,030	64,030		64,030
5 その他収益						
受取利息			43	43		43
為替差益	15,928		15,928	31,856		31,856
雑収益				0		0
経常収益計	32,898	3,161,123	1,167,791	4,361,812	0	4,361,812
Ⅱ 経常費用						
売上原価			305,864	305,864		305,864
諸謝金				0		0
旅費交通費				0	484	484
通信運搬費	79,700	40,357	11,162	131,219	454	131,673
印刷製本費		68,137	760	68,897		68,897
消耗品費		6,044	0	6,044		6,044
広告宣伝費			3,868	3,868		3,868
地代家賃			184,845	184,845		184,845
出店費				0		0
会場費				0		0
支払助成金	273,000			273,000		273,000
支払寄附金	523,839			523,839		523,839
現地交流費				0		0
支払手数料	3,907	1,485	5,625	11,017	2,461	13,478
租税公課			6	6	600	606
諸会費				0	22,500	22,500
支払報酬料				0	309,299	309,299
為替差損				0		0
雑費						
経常費用計	880,446	116,023	512,130	1,508,599	335,798	1,844,397
当期経常増減額	△ 847,548	3,045,100	655,661	2,853,213	△ 335,798	2,517,415
Ⅲ 経常外収益						
Ⅳ 経常外費用						
1 雑損失				0		0
税引前当期正味財産増減額	△ 847,548	3,045,100	655,661	2,853,213	△ 335,798	2,517,415
法人税・住民税及び事業税			195,300	195,300		195,300
当期正味財産増減額	△ 847,548	3,045,100	460,361	2,657,913	△ 335,798	2,322,115

定款上の「教育支援事業」「文化交流事業」「学生会員派遣事業」は、日本国外において事業活動をすることから、これらをまとめて「教育支援・文化交流・学生会員派遣」として表示しています。

財　産　目　録

２０２１年１０月３１日現在

特定非営利活動法人
JUNKO Association
（単位：円）

科　　目	金	額	
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金			
手許現金（アメリカドル）USD3,072.00　（為替レート113.67円）	349,194		
手許現金（ベトナムドン）VND5,470,800　（為替レート0.00497円）	27,189		
手許現金（ミャンマーチャット）MMK418,148　（為替レート0.06301円）	26,347		
普通預金　　三菱UFJ銀行戸塚支店	4,614,363		
普通預金　　三菱UFJ銀行戸塚支店　（緊急時積立金口座）	134,000		
郵便振替口座 ゆうちょ銀行（たかじゅん基金）	565,331		
売掛金			
Stores売上(ネット販売)	5,740		
商品			
食器等（倉庫管理品）	219,442		
小物類（倉庫管理品）	49,167		
布製品（倉庫管理品）	36,370		
アクセサリー（倉庫管理品）	27,035		
メッセージカード（倉庫管理品）	119,805		
その他	1,950		
貯蔵品			
寄付物品（子供服150着他）	207,395		
SR会員特典企画購入品	1,487		
前払費用			
前払家賃　　倉庫賃借料11月分	21,165		
流動資産合計		6,405,980	
2　投資その他の資産			
差入保証金			
倉庫賃借契約	12,000		
預託金			
JUNKO Japan-Myanmar Scholarship Foundation	1,000,000		
投資その他の資産合計		1,012,000	
資産合計			7,417,980
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金			
ベトナム現地文化交流費　　USD276.00（為替レート=113.67円）	31,372		
月次支援金他　申請手数料	44,000		
Stores売上(ネット販売) 決済手数料	287		
未払法人税等			
法人税、住民税及び事業税	195,300		
預り金			
春・夏短期派遣時の緊急時用積立金	134,000		
源泉所得税	4,084		
流動負債合計		409,043	
負債合計			409,043
正味財産			7,008,937

監査報告書

2021年12月8日

特定非営利活動法人 JUNKO Association
理事長　松岡　良樹　様

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、特定非営利活動法人 JUNKO Association の 2020 年度（2020 年 11 月 1 日から 2021 年 10 月 31 日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び活動計算書、財務諸表の注記）について監査を行った。

私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会の議事録を確認し必要と認める場合には質問を行った。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び 2020 年度の事業計画に基づき、適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人 JUNKO Association の 2021 年 10 月 31 日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財政状態を適正に表示しているものと認める。

以上

監事　東樹康雅

監事　濱田宏子

支援のお願い

ベトナムとミャンマーの子どもたちの教育環境改善のために、ご協力をお願い致します。ご寄附として頂いた資金はすべて子どもたちのために使わせていただきます。

◇会員として支援する

社会人会員：5,000円　　賛助会員：5,000円以上

【特典】

・年度活動報告書を発行

・年2回、機関誌『TIMES』を発行

※Syncableから会員登録される場合は、会費が自動引き落としとなります。
詳細は、団体ホームページ又は当法人にお問い合わせください。

◇寄附で支援する

ベトナムとミャンマーでの教育支援活動、そしてそれを支えるJUNKO Associationの活動に使わせて頂きます。

【郵便振込】

トクヒ）ジュンコアソシエーション

口座番号：00230-9-8995

【銀行振込】

ゆうちょ銀行　029支店　当座：0008995

トクヒ）ジュンコアソシエーション

※お振り込みの際に手数料がかかりますのでご了承ください。

※ご寄附の際にはお名前をご明記ください。

◇モノで支援する

当団体では写真集、ファッション誌、漫画などの図書や使わなくなった文房具などのご寄附をお受けしています。

詳細は団体ホームページをご覧ください。

特定非営利活動法人 JUNKO Association

●法人事務所

〒248-0014

神奈川県鎌倉由比ガ浜3-7-3

TEL：0467-23-6660

MAIL：junko.association.sr@gmail.com

●学生連絡先

〒224-8539

神奈川県横浜市戸塚区上倉田町1518

明治学院大学 学生部気付

公認団体 明治学院大学JUNKO Association

編集責任者

松岡良樹